

令和8年度

「運営に関する計画」

大阪市立長吉出戸小学校

令和8年4月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 認知したいじめについては概ね解消できているが、不登校児童は増加傾向にある。一層の校内体制の充実、関係機関等と連携した組織的な対応を充実させることが必要である。
- 暴力や暴言、差別的な児童の言動に対して、差別やいじめを決して許さず、自他の人権を大切にす個人や集団を育むために、道徳教育や人権教育を充実させ、互いに尊重しあい学校や地域に愛着を持てるようにする必要がある。
- 学力調査の結果では、各学年で学力の二極化と多数層の学力の向上が課題である。質の高い「探究的な学び」の充実を図り、学力調査の結果をもとに一人一人の児童の個別最適な学びを設定し充実させていく必要がある。
- 体力や運動能力は全国や大阪市全体と比べて高いとは言えない。更なる体育学習や運動週間の取り組みの充実に加えて、特に夏季の高温時における運動量の確保について検討する必要がある。
- ICTを用いた「自律的・探究的」な学び支援する学習を推進するために、生成AIの活用も含めたオンライン環境の有効な活用を進めていく必要がある。

中期目標

「学ぶことに喜びを持ち、心豊かな、たくましい子どもを育てる」

【安全・安心な教育の推進】

・基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現

- 違いを認め合う子どもを育てることにより、「安心して過ごせる学校づくり」をする。
令和11年度の全国学力・学習状況調査の「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を82%以上にする。
(令和7年度全国学力・学習状況調査 75.6%) 学校アンケート

・基本的な方向2 豊かな心の育成

- 互いを思いやる子どもを育てることにより、「楽しい学校づくり」をする。
令和11年度の全国学力・学習状況調査の「学校へ行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、70%にする。
(令和7年度全国学力・学習状況調査 63.4%) 学校アンケート

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

・ 基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上

○「話し合い活動を」を通じて、学習内容の深化を図る。

令和11年度の小学校学力経年調査・校内調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 83%にする。

(令和7年度学力経年調査 平均 75.5%)、令和7年度末校内調査 平均 82.1%)

・ 基本的な方向5 健やかな体の育成

○体育の学習を工夫すると共に行事を通じて、運動能力を高める。

令和11年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の対全国比の割合を、令和7年度より 1ポイント向上させる。

(令和7年度 男子+2.2ポイント、女子-1.0ポイント、平均+0.6ポイント)

【学びを支える教育環境の充実】

・ 基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

○ICTを活用した教育を推進することで、

令和11年度の小学校学力経年調査・校内調査の「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」の項目について、週3回以上と回答する児童の割合を、58%以上にする。

(令和7年度学力経年調査 平均 54.5%、令和7年度末校内調査 データなし)

・ 基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり

○「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる、教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を 88%以上にする。

(令和7年度(2月時点) 教員の時間外勤務時間の状況 83.3%)

【その他】

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

○基本的な方向1 安心・安全な教育環境の実現

- ・全国学力・学習状況調査の「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を77%以上にする。

(令和7年度全国学力・学習状況調査 75.6%) 学校アンケート

- ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を74%以上にする。

(令和7年度学力経年調査 平均 73.3%)

- ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

(令和7年度校内調査 2.78% 2/252)

○基本的な方向2 豊かな心の育成

- ・小学校学力経年調査における「自分とちがう考えの人と話しているとき、その人がどうしてそのように考えているかを分かろうとしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を72%以上にする。

(令和7年度学力経年調査 平均 71.5%)

- ・小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%にする。

(令和7年度学力経年調査 データなし)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上

- ・小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.5ポイント向上させる。

(令和7年度学力経年調査 平均 -1.1ポイント)

- ・小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.5ポイント向上させる。

(令和7年度学力経年調査 平均 -2.6ポイント)

- ・小学校学力経年調査・校内調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を77%にする。

(令和7年度学力経年調査 平均 75.5%)

○基本的な方向5 健やかな体の育成

- ・年度目標アンケートにおける「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 87%以上にする。

（令和7年度学力経年調査 平均 68.4%）

（年度目標アンケート 平均 86%）

- ・小学校学力経年調査における「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。

（令和7年度学力経年調査 67.00%）

【学びを支える教育環境の充実】

○基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）

- ・小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を 56%以上にする。

（令和7年度学力経年調査 平均 54.5%）

○基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり

- ・教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月 20時間以下とする。

（令和7年度 月平均時間外勤務時間 累計 21時間12分）

○基本的な方向9 家庭・地域との連携・協働した教育の推進

- ・保護者アンケート（新設）における「学校はホームページや学校だより、学年だより等で情報を発信している。」に対して、肯定的に回答する保護者の割合を 70%以上にする。

（令和7年度 データなし）

【その他】

3 本年度の自己評価結果の総括

--

大阪市立長吉出戸小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>○基本的な方向1 安心・安全な教育環境の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査の「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を77%以上にする。 (令和7年度全国学力・学習状況調査 <u>75.6%</u>) 学校アンケート ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を<u>74%以上</u>にする。 (令和7年度学力経年調査 <u>平均 73.3%</u>) ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 (令和7年度校内調査 <u>2.78%</u> <u>2/252</u>) <p>○基本的な方向2 豊かな心の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「自分とちがう考えの人と話しているとき、その人がどうしてそのように考えているかを分かろうとしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を<u>72%以上</u>にする。 (令和7年度学力経年調査 <u>平均 71.5%</u>) ・小学校学力経年調査における「自分とちがう考えの人と話しているとき、その人がどうしてそのように考えているかを分かろうとしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を<u>82%</u>にする。 (令和7年度学力経年調査 <u>平均 81.6%</u>) 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>○ 日常的に情報交換し、児童理解を深め、取り組みを検討する。</p> <hr/> <p>指標 ・ 学年打ち合わせなどで日常的に情報交換を行うとともに、学期に1回事例交流会を開き、情報や対応方法を共有する。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>○ 不登校・遅刻の解消に向けて、児童の実態を的確に把握し、適切な対応につなげていく。</p> <hr/> <p>指標 ・ 毎月ICTを活用したスクリーニング会議を開き、不登校・遅刻の多い児童を中心に情報を共有する。また、外部機関とも連携する。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>○ 防災・減災教育や防犯・交通安全教育などを通じて、自他の命を守るための行動力を高める活動を取り入れる。</p> <hr/> <p>指標 ・ 地域・区役所や消防等の関連機関と連携した防災訓練、警察と連携した交通安全指導を年1回以上、校内での訓練、指導を学期ごとに実施する。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>○ 児童生徒の自己有用感・自己肯定感の改善に向けた、道徳教育・キャリア教育の取り組みを行う。</p> <hr/> <p>指標 ・ 5月の「いじめについて考える日」の集会を起点に、全学級で「いじめ」を題材にした「道徳の時間」の学習を実施し、実施内容について情報共有を行う。</p> <p>・ 2学期の学習参観では、仲間づくり、人権意識を高めるため、保護者への啓発を含め「道徳の時間」を中心とした学校の取り組みがわかる授業を実施する。</p>	
<p>取組内容⑤【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>○ 自らがかけがえのない大切な存在であると実感できる人権教育の取り組みを行う。</p> <hr/> <p>・ 各学年で「仲間づくり」、「個の尊重」等を柱とした人権教育に取り組み、事例交流会を開き、実践事例を共有する。</p>	

<p>取組内容⑥【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>○ 教員の障がいに対する理解の深め、「共に学び、共に育ち、共に生きる教育」を進める取り組みを行う。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特別支援教育に関する教員研修を年1回以上実施すると共に、特別支援コーディネーターを中心に人権やインクルーシブ教育について学年集会等で各学年、年1回指導を行う。 	
<p>取組内容⑦【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>○ 異学年交流を基にした学習活動を積極的に取り入れる。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ 異学年や縦割り班活動による交流を深め、協力しお互いの良さを認め合う取り組みを各学期に5回以上実施する。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

大阪市立長吉出戸小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より <u>0.5 ポイント</u> 向上させる。 (令和7年度学力経年調査 平均 <u>-1.1 ポイント</u>) ・小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より <u>0.5 ポイント</u> 向上させる。 (令和7年度学力経年調査 平均 <u>-2.6 ポイント</u>) ・小学校学力経年調査・校内調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を <u>77%</u> にする。 (令和7年度学力経年調査 平均 <u>75.5%</u>) <p>○基本的な方向5 健やかな体の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度目標アンケートにおける「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を <u>87%以上</u> にする。 (令和7年度学力経年調査 平均 <u>68.4%</u>) (年度目標アンケート 平均 <u>86%</u>) ・小学校学力経年調査における「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を <u>70%以上</u> にする。 (令和7年度学力経年調査 <u>67.0%</u>) 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>○ 国語科における基礎学力向上に向けた取り組みを行う。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学力向上推進委員会を組織し、各学期で基礎学力向上のための学習内容を決め、全学年で週に1回、時間を設定し実施する。学期毎に成果と課題を示し改善を図る。 	
<p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>○ 算数科における基礎学力向上に向けた取り組みを行う。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学力向上推進委員会を組織し、各学期で基礎学力向上のために、全校（1年生のみ別課題）でます計算に取り組む。学期毎に成果と課題を示し改善を図る。 	
<p>取組内容③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びを推進するために、互いに意見や考えを出し合い、協働して考えを深めたり広げたりする学習場面を設定する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1学期：国語科、算数科を中心に、様々な教科で主体的・対話的な学びの場面を設定し、児童に学び方の定着を図る。 ・ 2～3学期：対話に重点を置き、対話的学びの活動を週に5回設定する。 	
<p>取組内容④【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>○ 図画工作科における児童の鑑賞力を育成するために、教員の指導力向上を図る。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図画工作科を教科に据え、各学年1回、授業研究会を設ける。 ・ 夏季に外部講師を招聘した研修会を1回設ける。 	
<p>取組内容⑤【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>○ 児童が体を動かすことが好きになるような機会を設定する。</p> <hr/> <p>指標・学期に1回、スポーツ交流会を実施するとともに、異学年でのスポーツ交流を行う。</p>	

<p>取組内容⑥【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>○ 規則正しい生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん）を身につけさせる。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>指標・朝ごはんチャレンジ週間を年に2回実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活に関わる保健指導を年に1回実施する。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

大阪市立長吉出戸小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を <u>56%以上</u>にする。 (令和7年度学力経年調査 平均 54.5%) <p>○基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月 <u>20時間以下</u>とする。 (令和7年度 月平均時間外勤務時間 累計 21時間12分) <p>○基本的な方向9 家庭・地域との連携・協働した教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケート（新設）における「学校はホームページや学校だより、学年だより等で情報を発信している。」に対して、肯定的に回答する保護者の割合を <u>70%以上</u>にする。(令和7年度 データなし) 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）】</p> <p>○ 校内において学習者用端末を活用する取り組みを行う。</p> <hr/> <p>指標 ・ 学習者用端末を使用して、基礎学力の定着に向けた課題に取り組む。また、「主体的・対話的で深い学び」を進めるため、学習で話し合い活動を週3回以上行う。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>○ 学習活動や学校行事等において低・中・高学年単位での連携を積極的に進め、業務の効率化と個々の教員の負担軽減を図る。</p> <hr/> <p>指標 ・ 学習指導や学校行事で、低・中・高の2学年で連携し、合同授業や授業交換などの学年間連携を年3回実施する。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方針9 家庭・地域との連携・協働した教育の推進】</p> <p>○ 日々の教育活動や取り組みについて、情報発信を積極的に進める。</p> <hr/> <p>指標 ・ 毎月、学年だよりや学校だより等を発行するとともに、学校ホームページを課業日において、1日平均2回以上更新する。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点